

Green 16/18 : CBCT

撮影の前に:

ネックレスや、眼鏡、イヤリングなど、金属のもの(義歯又は歯列全体の校正器具)を外してください。

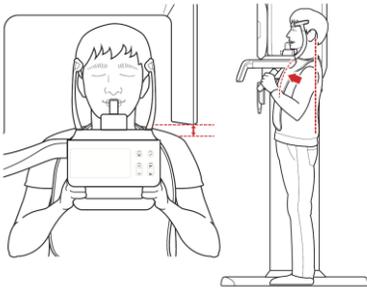
システムの初期化及び高さの調整

前面の制御版又は柱の調整スイッチの上下ボタンを利用して、高さを患者様に適切に合わせて下さい。



正しい姿勢

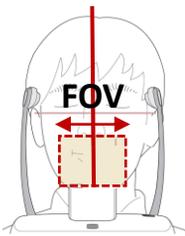
患者様がチンレストのところの真ん中に真直ぐ立てさせて下さい。患者様の咬合ラインが床と平行になるようにして下さい。
胸は装備に当てて両足はベースの奥に近付けるように案内して下さい。
それから、装置と患者様の間に邪魔になるものがないようにご確認下さい。



歯科用CTからの映像獲得の基本原則

撮影映像の領域はFOV Sizeを基にし、

- 1 患者様の顔の真ん中にミッド・サジタルのライン光線を合わせてください。そこがFOVの中心になります。
- 2 フランクフルト・ライン光線が患者様の顔と水平に並んでいるかをご確認下さい。



Green 16/18 : パノラマ

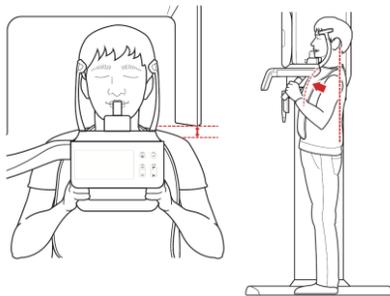
撮影の前に:

ネックレスや、眼鏡、イヤリングなど、金属のもの(義歯又は歯列全体の校正器具)を外してください。



システムの初期化及び高さの調整

ミッド・サジタルのガイドライトを利用して、患者様の顔の中心をバイトやチンレストの真ん中に合わせます。ラインは眉毛や人中の間に現れます。コラムUP/DOWNボタンを利用して装備を患者の背中に合わせます。



正しい姿勢

患者様が垂直から1インチ前に足を置いた形で立つようにして下さい。その時はチンレストの下のハンドルを握るようにして下さい。装置と患者様の間に邪魔になるものがないようにご確認下さい。

ガイドビームの調整

1 ミッド・サジタルのガイドビーム

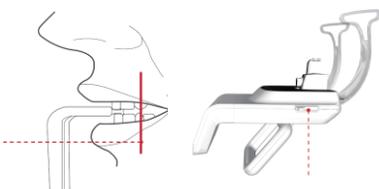
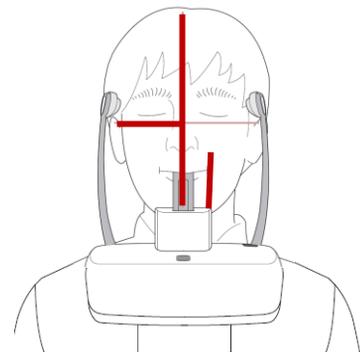
ミッド・サジタルのガイドビームを利用し、前側の鼻腔(顔の真ん中)をバイトやチンレストの中心に合わせます。

2 フランクフルと水平/咬合ガイドビーム

外耳道の上段とOrbital rimの下段に水平ビームを平行にします。チン・サポート機能を使用して細かく高さを調整して下さい。

3 犬歯ガイドビーム

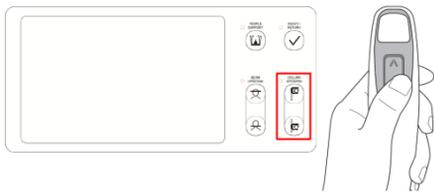
チンレストの下にあるスライドノブを利用して、犬歯ガイドビームを左の犬歯の中心に合わせます。



Green 16/18 : セファロー

撮影の前に:

ネックレスや、眼鏡、イヤリングなど、金属のもの(義歯又は歯列全体の校正器具)を外してください。



システムの初期化及び高さの調整

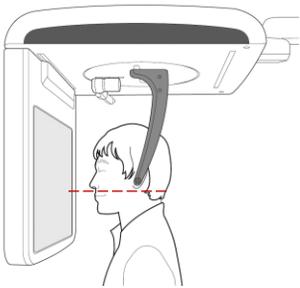
前面の制御版又は柱の調整スイッチの上下ボタンを利用して、高さを患者様に適切に合わせて下さい。(1インチ以上の単位で調整し、適当な高さに調整します。)



正しい姿勢

撮影領域を指定してから、患者様に次のように位置づけられるように指導して下さい。

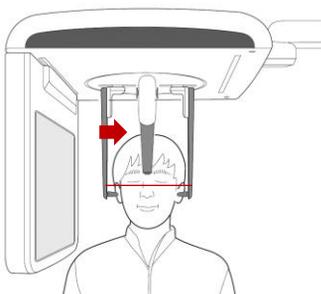
- ・ 脊椎とEar Rodsが平行するように正しく立てて下さい。
- ・ 両肩の高さを同じくして、首の力を抜きます。
- ・ Ear rodsを着用の際は怪我しないようにご注意ください。



フランクフルト・ラインのヘッドチルト調整

フランクフルト・ラインはorbital rim下の仕切り目と外耳道の上段が平衡になるように患者様の頭を傾きさせます。

フランクフルト・ラインは床と平行になり、Lateral、そしてPA Cephaloのための自然な骸骨の映像を作り上げます。



鼻腔ポジショナーの調整

鼻腔ポジショナーを鼻面(craniometric soft tissue bridge of the nose)が押される前まで、後ろ方向に押して下さい。